

# さちひろ

発行：天理教狭千廣分教会 〒589-0021 大阪狭山市今熊1-1133 TEL.072-365-2571  
E-Mail:wat@sachihiro.com url:http://sachihiro.com 編集兼発行人・山口 渡

天理教狭千廣分教会の信仰新聞  
1面・新しい自分を見つける！  
2面・天理教教会本部の神歌  
3面・おやさま逸話篇から  
4面・教会の動き

## 教会の動き

朝づとめ：毎朝・6時30分  
夕づとめ：毎夕・7時30分  
元旦祭：午前7時・午後1時30分  
春季大祭：1月21日 午後1時30分  
秋季大祭：10月21日 午後1時30分  
月次祭：毎月21日 午後1時30分  
春季・秋季霊祭：3月22日、9月22日 午後1時30分  
※教会の場所は、左の地図の★マークです。市立公民館の裏・西側です。



受講対象：17歳以上  
内容：天理教紹介コース  
(1時間30分所要)  
■ビデオ①  
「天理教陽気くらしの道」  
・教えの概要と教会本部  
・またはそのさまざまな  
活動を紹介します。  
■講話1  
「かしのの・かりもの」  
・講師が身近なことを題  
材に「心と」からだの独  
特な教えについてお話し

■ビデオ②  
「信仰のよろこび」  
・信仰する人たちの喜びの姿を紹介  
します。  
■講話2  
「親神様・教祖・ちば」  
・ゆるぎない幸せを築くためには何  
が大切か、講師が分かりやすくお  
話しします。  
会場：おやさまやかた東左三棟階下  
(受付も階下ホール)  
受講料：500円 (のし袋に入れ  
てお出しください)  
開催日時：毎日開催 (12月28日～1  
月1日をのぞく)  
平日 午後1時30分  
土日祝日及び25日、27日 午前9時30  
分/午後1時30分  
《本部祭典日等特別な日は、開催時  
間が変わることがあります。詳しく  
は開催日程表をご覧ください》

受付：開始30分前より  
(直接会場にお越しください)  
外国語：外国語による開催日は、事  
前に発表。その他の日で希望する  
場合は、1週間前までに、海外部  
人材育成課 (電話0743-63-1511内  
線5348) に「相談ください」。  
外国語での開催要項  
http://www.mahoroba.net/jp/~kaigai/ku  
s/index.html  
手続通訳：1週間前までに布教部福  
祉課 (電話0743-63-1511内線53  
21) に「相談ください」。

《編集後記》  
▼以前からこういうものを作りたいと思っ  
ていましたが、なかなかできなくて、年  
頭に今年こそと心に決めました。それで  
もなかなか進まず、今頃になってしま  
いました。  
▼しかし、まだ内容が未だ暫定的なもの  
で、定まっていません。だんだん拡充し  
たいと思っています。  
▼忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせ  
下さい。メールで結構です。お寄せ下さ  
い。お待ちしております。  
(わ)

わたしの 第一号  
編集兼発行人・山口 渡  
平成17年2月21日  
大阪狭山市今熊1丁目1133番地  
TEL.072-365-2571

# 新しい自分を見つける！

まいたるたねはみなはえる

(みかくらうた 七下り目8)

種を蒔いたら、種から芽が出て、さらに成長して花が咲き、実をつけます。

そんなこと、単なる自然の摂理で当たり前のことじゃない！と言われるかも知れませんが、しかし、そのようなプロセスの背後に偉大な力がある、その働きによって世界の秩序が保たれています。天理教を信仰する人は、そのように考えています。

偉大なる力・働きによって生かされて生きているのが、この自然であり、わたしたち人間自身でもあります。

また、その偉大なる力・働きと人間のつながりはどこにあるのしょう。心一つにある、というのが天理教の考え方です。人間の心づ

かい如何が世界のありようを大きく変える元  
になっているのです。

標記のおことばは、その姿を説かれたもので、日々の心づかいの大切を訴えています。  
良い心をつかえば、良い結果を見ることができ、悪い心を使えば悪い結果になります。良い結果をみたかったら、良い心をつかきましょう。その積み重ねがわたしたちの一生をきめるのです。

偉大なる力・働きに影響を与えているのは、日常のわたしのちよつとした心づかいであることに気づけば、自分の心づかいを改めることによって、あたらしい自分を見つけることができます！ それこそ、すばらしい生き方だと思いませんか。







天理の紹介

# 天理教教会本部の神殿をめぐる



このページでは、天理を紹介します。天理市、天理教など天理にまつわるもの、いろいろを紹介したいと思っています。まずは初回は、天理教教会本部の神殿です。

少し前になりますが、こんな本が話題になりました。五十嵐太郎著・講談社現代新書「新宗教と巨大建築」2001年12月20日刊、です。



「マスメディアで神社や寺院を紹介するとき、新宗

教の建物を紹介するときの作法は違う。」  
「すべてを金銭問題に還元し、新宗教の空間そのものは見ようとしな。こうした常套文句は思考の停止につながる」と述べる著者の執筆動機には、大いに共感させられました。

そして、「新宗教の空間を考察する」際に、「教団の思想から空間の概念を読みとり、いかに現実の空間に反映させたのかを検証する」との手法にも好感をもちました。

その第二章「天理教の建築と都市」で天理教の建築空間をかかなりのスペースを費やして論じています。是非、目を通してほしい一書です。以下のホームページでも五十嵐氏の活動が紹介されています。  
<http://www.sc.higlobe.ne.jp/~fullch/figanas/figanal/figana%20p1.htm>

※ ※ ※  
その五十嵐氏を迎えてのシンポジウムが、天理で下記のように開催されます。

※天理大学創設者生誕100周年記念シンポジウム「宗教と建築：建築と音楽」  
2005年4月23日（土）午後1時30分  
天理大学9号棟ふるさと会館  
講演：藤森照信（東京大学生産技術研究所教授）日本近代史に見る洋館の意義と「若江の家」

五十嵐太郎（建築史家）中山正善先生の宗教都市創造における思想とその背景  
渡辺豊和（京都造形芸術大学教授）イスラム都市空間に見る音楽的構造と調和  
加地伸行（大阪大学名誉教授）中国思想史に見る建築と音楽  
パネルディスカッション：世界宗教の建築宇宙空間を語る

コーディネーター：井上昭夫（天理大学おやさと研究所所長・天理大学教授）  
入場無料 問い合わせ・申し込み：天理大学総合教育センター（小林正佳）  
E-Mail: [koba-m@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:koba-m@sta.tenri-u.ac.jp)  
電話 0743-63-7089

おやさま逸話篇から

## 一粒万倍

いちりゅうまんばい

教祖は、ある時一粒の粃種を持って、飯降伊蔵に向かい、

「人間は、これやで、一粒の真実の種を蒔いたら、一年経てば二百粒から三百粒になる。二年目には何万という数になる。これを、一粒万倍と言うのやで、三年目には、大和一国に蒔く程になるで」と、仰せられた。

■『稿本天理教教祖伝逸話篇』  
『稿本天理教教祖伝』は天理教教祖・おやさまの公式伝記であり、その内容は信仰者のひながた（手本・模範）

として仰がれています。実証的な手法で書かれていますので、行間を読む必要があります。その上からそれ（教祖伝）を信仰の立場から補い身近におやさまに接することができるようにとの思いから編まれたのが『稿本天理教教祖伝逸話篇』です。このページでは、そのなかから適宜紹介していきます。

■飯降伊蔵

元治元年、奥さんの産後の肥立ちが悪くて困っておられたところをおやさま（教祖）にたすけられて入信。おやさまの仰せのままに真実の道を

通られ、後に存命のおやさまの名代として神様の言葉を取り次ぐ本席という重い役割を全うされた方です。

■一粒万倍

天理教専用の用語ではありませんが、今や一般にはあまり使われることのないのでは？ 辞書で引いてみると、もともとは仏典が初出文献のようです。「（「報恩経」）による。ひとつぶのみをまけば万倍の米になるの意」小さな物事が伸びて大きくなることのとたとえ」とありました。何事もその元は、小さなことから始まるものです。

